

令和元年度第1回埼玉県地域保健医療計画推進協議会議事概要

1 日 時 令和元年8月22日（木） 午後2時00分～3時30分

2 場 所 埼玉会館 3階3C会議室

3 出席者

【委員】

湯澤俊会長、吉本信雄副会長、池田里江子委員、石川稔委員、伊藤宏治委員、大塚節子委員、緒方裕光委員、菅野隆委員、桑島修委員、柴田潤一郎委員、高橋茂雄委員、田村典子委員、土田保浩委員、中山伸也委員、南本浩之委員、原澤茂委員、細川修委員、村木京子委員

【事務局】

関本保健医療部長、本多保健医療部参事、阿部保健医療部副部長、河原塚保健医療部副部長、山崎地域包括ケア局長、根岸食品安全局長、関係各課長及び担当者

4 議 事

- (1) 会長及び副会長の選任について
- (2) 部会長の指名について
- (3) 埼玉県地域保健医療計画の一部変更について
- (4) 埼玉県地域保健医療計画の進捗状況について
- (5) 地域医療介護総合確保基金（医療分）について
- (6) その他

5 議事内容

- (1) 会長及び副会長の選任について

湯澤委員が会長に、吉本委員が副会長に選任された。

- (2) 部会長の指名について

救急医療部会は原澤委員が、周産期医療部会は高橋委員が、在宅医療部会は湯澤委員が部会長に指名された。

(3) 埼玉県地域保健医療計画の一部変更について

資料1に基づき事務局から説明を行った。

【主な質疑】

委員から、中堅どころの医師が埼玉県に来たいと思うようなインセンティブを働かせる必要があるとの意見があり、事務局から、海外留学をしてさらに腕を磨きたい医師への支援を開始したことを説明した。

また、委員から、県内の医療の魅力とはどのような内容なのかと質疑があり、事務局から、埼玉の魅力は症例が多いこと、対象となる患者が多いことであると説明した。

質疑応答の結果、計画の一部変更を進めていくことが確認された。

(4) 埼玉県地域保健医療計画の進捗状況について

資料2に基づき事務局から説明を行った。

【主な質疑】

委員から、目標達成に向けた取組の中には市町村国保以外にも被用者保険等が行う施策も入れていくべきとの意見があった。事務局から、市町村国保だけでなく、それぞれが連携して協力し合うものと考えていることを説明した。

(5) 地域医療介護総合確保基金（医療分）について

資料3に基づき事務局から説明を行った。

【主な質疑】

委員から、急性期から回復期への転換に係るハード整備のニーズについて質疑があり、事務局からニーズが高くない状況であると説明した。

(6) その他

【主な質疑】

特になし

【出席委員の所属団体・役職等】

- | | | | |
|---------|----|--------------------|-----------|
| 池田 里江子 | 委員 | (一社) 埼玉県薬剤師会 | 常務理事 |
| 石川 稔 | 委員 | (社福) 埼玉県社会福祉協議会 | 副会長 |
| 伊藤 宏治 | 委員 | (公財) 埼玉県健康づくり事業団 | 参与 |
| 大塚 節子 | 委員 | (公社) 埼玉県介護老人保健施設協会 | 理事 |
| 緒方 裕光 | 委員 | 女子栄養大学 | 教授 |
| 菅野 隆 | 委員 | (一社) 埼玉県精神科病院協会 | 会長 |
| 桑島 修 | 委員 | 健康保険組合連合会埼玉連合会 | 事務局長 |
| 柴田 潤一郎 | 委員 | 全国健康保険協会埼玉支部 | 支部長 |
| 高橋 茂雄 | 委員 | (一社) 埼玉県医師会母子保健委員会 | 委員長 |
| 田村 典子 | 委員 | 埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会 | |
| 土田 保浩 | 委員 | 埼玉県国民健康保険団体連合会 | 常務理事 |
| 中山 伸也 | 委員 | 公募委員 | |
| 南本 浩之 | 委員 | (公社) 埼玉県理学療法士会 | 会長 |
| 原澤 茂 | 委員 | (一社) 日本病院会埼玉県支部 | 支部長 |
| 細川 修 | 委員 | (一社) 埼玉県食品衛生協会 | 検査センター一所长 |
| 村木 京子 | 委員 | (公社) 埼玉県看護協会 | 専務理事 |
| ◎ 湯澤 俊 | 委員 | (一社) 埼玉県医師会 | 副会長 |
| ○ 吉本 信雄 | 委員 | 埼玉医科大学 | 副理事長 |

(氏名五十音順 ◎：協議会会長、○協議会副会長)